

鹿児島空港

【実施主体：個社】

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ</p>	委託先との契約金額の見直し	処遇改善含む賃上げ等、委託先社員への還元を前提として委託先との契約金額について、順次、見直しを進めている。	
	総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の見直し検討に着手。	
	検査会社への委託料の見直し	本社にて、R5年度に引き続きR6年度契約料金の引き上げを実施。	
<p>人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化 (キャンセル料の設定 等)</p>	委託先の人材確保を下支えするための契約条項追加	最低保証料金の設定や品質連動制度等、委託先の経営の下支えやモチベーション向上に繋げられるような契約条項について、順次、追加設定を進めている。	
<p>【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進</p>	清掃ロボットの導入による省人化・省力化	シフト勤務における人材確保が難航し、清掃ロボット導入による自動化による効率化を進める。	
	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	
	地方空港等受入環境整備事業費補助金（人材確保2R・業務効率化）	通訳機活用による訪日外国人旅客対応の円滑化	
	職場環境の改善	<p>管理事務所と社員待機室を一体化することにより、風通しの良い職場環境を構築するとともに、壁でしまった会議室を設けることにより、相談もしやすい環境を構築し離職防止を図っている。</p> <p>休憩室を改装することにより、リラックスできる環境の構築を図っている。</p>	

【実施主体：個社】

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 職員負担の集中を回避するための正確な現状把握</p>	<p>適切な社員配置と労働時間の適切かつ継続的な把握。</p>	<p>提供サービスに応じた適切な要員配置を行うとともに、社員の労働時間を継続的に定点把握することにより社員負担を定量的に把握している。その情報を元に、職場環境の改善に繋げるため、新規採用や社員の再配置を実施している。</p>	
	<p>生産量ならびに生産対応状況の把握</p>	<p>本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。</p>	
<p>【短期】 適切な業務量調整による高負荷の抑制</p>	<p>社員業務量の平準化による負荷偏在の軽減</p>	<p>社員業務量の現状を把握し、把握結果に伴う業務効率化の施策の検討を実施している。継続的に社員配置の見直しを行い、社員あたりの業務量の平準化を図っている。</p>	
<p>【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）</p>	<p>採用PRの実施</p>	<p>人材確保にかかる採用情報の発信強化、航空・空港関連事業者による航空・空港における人材確保に向けた情報発信・プロモーションを実施。</p>	

【実施主体：個社】

鹿児島空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在職者の手当増額 ・ ジョブリターン（OB、OG） ・ 経験者採用強化 ・ 手当、支度金の創設 ・ 他業種からの出向受入 	<p>コロナ禍における職員の減少対策への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の定額制の手当からポイント制に変更し増額（450%） ・ ジョブリターン（OG/OB）による復帰者 8名 ・ 他空港での経験者優遇 4名 ・ 支度金制度（R5.4.1～R6.3.31）支給中 ・ 出向受入（4月事務折衝） 2名 5月1日受入
	<p>空港への就労希望者に対する採用合同説明会に参加（複数回）</p>	<p>空港ビルが主催する空港の事業者のみの採用合同説明会に参加し、各社において魅力を発信。</p>	
	<p>鹿児島空港インターンシップに伴う業務体験、空港見学会に参加</p>	<p>空港ビルが主催する大学生対象の空港業務に関するインターンシップにおいて、空港諸施設見学および業務体験を実施。</p>	
	<p>地方空港等受入環境整備事業費補助金（人材確保・業務効率化2R）</p>	<p>人材確保にかかる採用情報の発信強化、航空・空港関連事業者による航空・空港における人材確保に向けた情報発信並びにプロモーションのため採用合同説明会をにて開催</p>	

【実施主体：個社】

鹿児島空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）</p>	<p>複数社間のランプ作業資格の相互承認</p>	<p>1社で複数社双方をハンドリングしている10空港を対象に、作業資格の相互認証ならびに同種教育（航空保安・飲酒対策・落下物防止対策）の共通化施策を検討中。 相互承認を行う対象資格を7つ（TT,BL,PBB,MAS,WW,PK,PB）に絞り、具体的な承認フローを検討中。1月30日～2月2日に対象10空港への説明会を実施し、意見を集約。R6年4月以降の順次運用開始に向け、適用方法等検討中。</p>	<p>① 訓練時間の削減：各資格に対する座学時間および実技時間が削減できる。（インストラクター、訓練生ともに） ② 訓練期間の短縮：P/Bは実技訓練機会に限られるため訓練期間が現状1年程度かかるが、大幅に短縮可能。</p>
<p>【短期】 需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入</p>	<p>空港間における業務支援の実施</p>	<p>生産量、生産対応状況を踏まえ、自社グループ空港運営会社から総代理店への業務応援派遣を実施。</p>	<p>R5年07月及び10月の一部期間：旅客担当業務係員応援派遣受入れ</p>
<p>【中期】 長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備</p>			
<p>【中期】 ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進</p>	<p>施設・設備の改善</p>	<p>休憩室、更衣室、通信環境等の現状調査、および改善を実施（予定）。</p>	
<p>【中期】 特定技能制度の積極的な活用</p>			

【実施主体：空港会社等】

鹿児島空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 空港内の労働環境の改善			
【短期】 空港の知名度を生かした採用活動	空港への就労希望者に対する採用合同説明会を実施 （複数回）	空港ビルにおいて、グラハン等事業者4社を含む協力の下、空港の事業者のみの採用合同説明会を実施。	
	鹿児島空港インターンシップに伴う業務体験、空港見学の実施	空港ビルにおいて、大学生対象の空港業務に関するインターンシップにおいて、空港諸施設、管制塔見学ならびに業務体験を実施。	
	R5地方空港等受入環境整備事業費補助金 〈人材確保の推進〉	人材確保にかかる採用情報の発信強化、航空・空港関連事業者による航空・空港における人材確保に向けた情報発信・プロモーションを実施	
【短期】 マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】 空港WGの活用推進			
【中期】 GSE車両の共用化・共有化の推進			
【中期】 男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージの払拭、更衣室等の施設整備等）			

【実施主体：地方自治体】

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーション強化（人員体制等の正確な現状把握等）</p>			
<p>【短期】 空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施</p>	<p>地域公共交通等人財確保支援事業 採用活動に要する経費 免許・資格取得に要する経費</p>	<p>地域公共交通等の担い手の確保を図るため、交通事業者等に対し、人材確保に係るPRや県外就職説明会等への参加費用や免許取得等に要する経費を支援</p>	
<p>【短期】 空港業務支援も誘致支援の一部と位置付けた上での関係部局（観光、産業振興 等）と連携した支援の実施</p>			
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>			
<p>【中期】 地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討（空港アクセスの不便さ等を考慮した住居支援、通勤支援 等）</p>	<p>鹿児島空港国際定期路線新規開設・増便特別支援事業補助金（グランドハンドリング人材確保特別支援）</p>	<p>鹿児島空港の国際定期路線の再開を促進し、国際航空ネットワークの更なる拡充を図るため、グランドハンドリング事業者が定期路線の運航再開に必要な人員を確保するために必要な経費の一部を支援</p>	
<p>【中期】 特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備</p>			

【実施主体：国】

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 各地の空港におけるベストプラクティスの横展開（事例収集・整理 等）	公表されたベストプラクティスの空港WGへの展開・周知。	公表された「持続的な発展に向けた空港業務に係る取組事例集」を空港WGへ展開・周知。	
【短期】 地域の意欲的な取組への積極的な協力（空港説明会への参画等）	空港への就労希望者に対する採用合同説明会に参加	空港ビルが主催する空港の事業者のみの採用合同説明会に参加し、魅力を発信。	
【短期】 生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援（先進機器の整備補助 等）	鹿児島空港インターンシップに伴う業務体験、空港見学会に参加	空港ビルが主催する大学生対象の空港業務に関するインターンシップにおいて管制塔見学および業務体験を実施。	
【短期】 各主体による取組の重要性の発信	地方空港等受入環境整備事業費補助金	採用情報の発信強化、新規採用者の教育・訓練の推進、業務効率化の推進等に要する経費の一部を補助することにより国際線早期復便に向けた体制を整備するため、各社からの要望を確認。	
【短期】 空港WGの活用推進	空港就労希望者への発信強化	鹿児島空港HPにおける就労募集ページのトップページへ掲載を依頼。	
	課題整理及び対応可能な課題の取組実施	空港WGを通じ、各社が抱える問題等を共有し課題整理を行い、対応可能な課題について取組実施。	
【中期】 空港DXの導入促進に向けた実証実験	他空港の導入事例等の横展開	空港WGにおいて、航空局HPに掲載されているベストプラクティス等の他空港事例について横展開を行った。	
【中期】 更なる支援措置等の検討（人材確保・育成、業務効率化、GX/DX等）	R5地方空港等受入環境整備事業費補助金	空港WG及び再周知によりR5年度補正補助金制度を積極的に活用いただくよう周知を実施	